

緑の宝



2018
新年号
No.67



オオワシ 北海道羅臼町

目次

会長挨拶	2
知事挨拶	3
花と緑の魅力あるまちづくり技術講習会	4
松くい虫予防剤樹幹注入研修会	5
特別支援学校 緑の保全事業	6
緑化アドバイザー	7
高齢者スキルアップ講習会	8
みどりのたより	9
緑の相談所開設	10
静岡県景観賞、まちかどコレクション表彰式	11
全国都市緑化はちおうじフェア	12
巨樹の会、さくらの会、建設産業のつどい、大臣顕彰	13
防潮堤要望書、技士会、知事表彰	14
南アルプス 高山帯の野鳥	15
会員名簿	16



公益社団法人 静岡県造園緑化協会

会長 高林 久雄

新年明けましておめでとうございます。

皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。

昨年を振り返ってみますと、海外ではトランプ大統領が誕生し、北朝鮮は大陸間弾道ミサイルを打ち上げ、韓国の大統領が弾劾されると色々と物騒な感じがしておりましたが、日本でも突然の衆議院の解散、野党の再編とバタバタしております。

我々の業界が関係する話題として、都市緑地法等の一部を改正する法律が六月に施行されました。都市公園の中に保育所等の設置が可能になり、また、カフェやレストランなどの収益施設の設置も可能に

なりました。また、民間事業者が広場整備等の公園リニューアルを合
わせて実施できるようになりました。

既に、大阪の天王寺公園のエントランスは民間企業が自己資金で
芝生広場や飲食物販施設を整備し、二十年間の協定締結で管理運営
しています。国交省では公園緑地の新たなステージを展開したと言っ
ています。公園管理に企業が積極的にかかわることを促そうとしてい
ます。

造園分野にとっては、脅威にもチャンスにもなり得る時代が来たとい
うわけです。ただ、緑化を推進するのではなく、都市公園の位置
づけを包括的にとらえることが必要になってきたわけです。

昨年、当協会の事務所を呉服町から県庁西館に移転しました。昭和
五十年から五十七年までは、県庁にいたので三十五年ぶりに復帰した
ことになります。県の関係各課とより緊密な連携が取れることで、
会員の技術や知識を強くアピールし、需要創出の絶好の機会になろう
かと期待しております。

新しい年が更に良い年になるよう祈念致しまして、私の新年の挨拶
とさせていただきます。



静岡県知事
川勝 平太

明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、晴れやかな気持ちで新しい年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、昭和四十一年の発足以来、五十年以上にわたり緑豊かな住みよい県土づくりに多大な貢献をいただいていることに對しまして、改めて敬意を表します。これまでも、東日本大震災の瓦礫撤去支援、浜名湖花博二〇一四への出展、県との災害時応援協定の締結、特別支援学校の緑化支援などの社会貢献活動に取り組んでこられ、県といたしましても大変心強く、深く感謝申し上げます。

本県では、これまで都市部の急激な開発により失われた身近な花と緑を復活させるため、貴協会の御協力をいただきながら、緑化率の向上や花と緑の量の確保に重点を置いた政策を展開してまいりました。

近年、暮らしの空間に、やすらぎやうるおいを求める県民のニーズが高まっており、住む人が誇りと愛着を持てる、良質で美しい花と緑のまちづくりが求められております。このような背景を踏まえ、本年度、これまでの緑化推進計画を見直し、花と緑を慈しむ文化を創造し、社会総がかりで緑化活動に取り組むことなどを重点とした新しい緑化推進計画の策定を進めているところであります。

ラグビーワールドカップ二〇一九や、東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックの開催控え、今後ますます多くの観光客が国内外から静岡県を訪れることが予想されます。こうした来訪者に対しても、県全体を庭園に見立てた「ふじのくに回遊式庭園」構想のもとに、新しい緑化推進計画に基づく花と緑によるおもてなし空間を創出することで、本県の魅力を積極的に発信してまいりたいと考えております。

そのためには、花と緑について高度な専門知識と技術を有する、貴協会の皆様のお力添えは欠かせないものであります。緑化専門家の育成や、花と緑によるおもてなし空間を創出する活動等の本県の緑化推進施策に對しまして、引き続き御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のみますの御発展と、会員の皆様の御健康、御活躍を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

花と緑の魅力ある まちづくり技術講習会

平成二十九年十一月十五日、平成二十九年年度「花と緑の魅力あるまちづくり第一回技術講習会」を開催しました。



講師の細野先生

講習会のテーマは「倒木落枝事故に学ぶ都市樹木のリスクマネジメント」です。講師は千葉大学大学院園芸学研究科特任助教細野哲央先生です。午前中は中央図書館会議室で座学を行い、午後は遊木の森で現地実習を行いました。参加者は造園業、市町・県職員等二千七名でした。

街路樹や公園樹木は高度成長期に多く植栽されたが、高齢化・大径木化が進み、ケヤキなどが倒伏する事故の発生が相次いだ。街路樹に起因する事故は道路管理瑕疵事故の二割を占める。

リスク管理とはリスクを予測し、対応するプロセス。樹木のリスクを受け入れられるレベルまで低減すること。

樹木の弱点は熟練者であれば見抜けることが多い。腐朽、枯れ、樹皮異常、クラック、根の問題、脆弱なプランチユニオンなど樹木の弱点を外見から判断できる。



午前中の座学

弱点はすべて発見できなくて良く、八十%以上発見すること。樹勢（活力度）とリスクの程度は一致せず、樹勢が良いと葉の量が多く、風の影響を受ける。

各地で管理責任を問う賠償命令が出た。責任のポイントは外観上、樹木の状態や樹勢に「異常」が見られていたかどうかである。

道路の場合、道理管理者が管理していない植栽でも責任は問われる。道路は不特定多数の人々が昼夜を問わず、移動できるので前提なので管理責任は重い。



銅棒を使って根株の状態を確認

リスクへの対応措置として強い切り詰め決定は、光合成量の低下、根系衰退等により腐朽が拡大し、事故発生リスクを増大する恐れがある。

また、樹木の「社会資本」としての意味が消失する。

樹木には、微気象緩和、土壌浸食防止、大気汚染物質の吸着、二酸化炭素固定、生物相保全、生理的疲労の低減、視覚的緊張の緩和等の多くの機能がある。



4班に分かれて樹木診断

松くい虫予防剤樹幹注入研修会

平成二十九年十一月二十九日、

三十日の二日間にわたって、静岡県清水区三保の東海大学社会教育センター三保研修館において、静岡県森林整備課と当協会の共催で「松くい虫被害対策における予防剤樹幹注入研修会」を開催しました。

県、市町の担当者、造園業者など六十名が参加しました。

二十九日は、県森林整備課の矢島主査が「松くい虫被害とその対策」「予防剤樹幹注入の仕様書」を説明しました。



29日の屋内研修会

仕様書では施工時期、施工条件、事前調査の方法と記録の仕方、注入作業の留意点と事後処理などが決められています。

続いて、樹幹注入の薬剤メーカー四社（㈱エムシー緑化、井筒屋化学産業㈱、㈱理研グリーン、ソエティスジャパン㈱）がそれぞれの薬剤の特徴などを説明しました。有効成分、薬剤効果、薬効期間、施工時の液量などが違います。



4メーカーの薬剤が並べられました。

三十日は五班に分かれて、敷地内の松に注入剤の施工の実習を行いました。仕様書に定められている通りに樹脂によりマツの健康状態を把握し、施工ラベルを作成します。角度と深さに注意して、ドリルで穿孔し、削りカスの色や臭いを確認し、注入剤をしっかりと差し込みます。いったん講義室に戻り、形成層障害の説明を受けた後、薬剤がすべて吸収されたことを確認し、殺菌癒合剤を充填しました。



講師のお手本を見てから実習です。



加圧注入容器



ドリルの削りカスの色や臭いを確認します。

特別支援学校 緑の保全事業

今年度の特別支援学校緑の保全事業は、東部は御殿場、中部は藤枝、西部は浜名の三校で実施します。

平成二十九年九月十九日に藤枝特別支援学校では第二回目の活動を実施しました。

講師は(南)岩本造園の岩本桂典氏です。生徒は中等部の八人です。

プランターに蕪の種をまきました。小さな蕪しかできなかったけど、みんなで食べたそうです。



蕪の種は小さいので苦労しました。

平成二十九年十一月二十一日、二十二日には腐葉土づくりをしました。

集めた落ち葉には少し太い枝や木の実が混じっていたので、まずその選別作業をしました。

選別した落ち葉、米ぬか、土を交互に重ねて、生徒さんが足で踏み固めました。

これから時々、かき回せば、来年の秋には良い腐葉土が出来て花壇に使えることでしょう。



みんなで作った腐葉土

平成二十九年十月二十四日に御殿場特別支援学校では生徒たちと花苗を植栽しました。生徒は七名で、先生が三名が手伝ってくれました。講師は(株)大綱造園の中澤春樹氏です。

十月十日に生徒たちと土入れをした玄関横の花壇に植えました。花壇のデザインは生徒たちが決めた「赤富士」です。富士山は赤色のパンジーで、まわりは水色のビオラです。生徒は花グループで近くの公園で花壇づくりをしているそうで、慣れていて作業は順調に進みました。



完成間近の花壇

当協会の特別支援学校緑の保全事業では、生徒さんたちと花壇づくりや剪定作業を行うとともに、学校職員や父兄では実施することが困難な消毒作業や大きな木の剪定作業、移植など学校の希望に応じて、実施しています。

今年度の藤枝特別支援学校では木が繁り過ぎて、教室が暗くなったのでケヤキの剪定作業を実施しました。



完了



着手前

(南)岩本造園さんが実施したケヤキの剪定

緑化アドバイザー

公益財団法人静岡県グリーンバンクから委託を受け、緑化施設を当協会の会員が育成管理巡回指導を行いました。

平成二十九年九月六日から二十一日まで、東部十か所、中部八か所、西部九か所の二十七か所です。うち、芝生だけのところは十八か所です。

いずれも平成二十四年、二十六年、二十七年に施工したところです。

芝生事業で芝刈り機や散水設備を整備したところは概ね、よく管理されていますが、芝刈り機の刃を研ぐ必要があるところも多かったです。

樹木を植栽したところでは、灌水、除草などの管理をほとんどやらずに全滅にちかいたところもありました。

改めて強く感じるのは、緑化は植栽した時点で終わりではなく、そこがスタートだということです。

職員などだけでは、施肥、消毒、剪定などの管理は難しいです。プロの造園業の人に見てもらわなければ、適切な管理はできないということです。



綺麗に管理された芝生の園庭



遊具のまわりの芝生は剥げている



枯れてほとんどなくなったフックソウ



サクラの葉を食べるモンクロシャチホコ



ケヤキの陰で芝生の生育が悪い



ベニバトキワマンサクは瀕死の状態

高齢者スキルアップ講習会

平成二十九年十月二日から十一日に高齢者スキルアップ・就職促進事業（浜松会場・浜松市緑化推進センター）を実施しました。

十月二日に開講式、三日に安全作業等を行い、この日は三日目で講師は天龍造園建設㈱の小林天竜氏で、移植等の科目です。次に㈱浮月園の青島広道氏、㈱山本造園の山本哲也氏が講師を務めます。受講者は六名ですが、センターの作業員も二名参加していました。



講師の小林氏は多くの事例を紹介しました。



サツキの移植の実習です。



根が多くて簡単には掘れません。



講師の源平氏が農業の説明

平成二十九年十月十九日から二十七日、高齢者スキルアップ・就職促進事業（静岡会場・静岡県立美術館）を実施しました。
講師は源平造園建設㈱の源平剛士氏、㈱杉村造園の杉村清市氏、㈱岳陽グリーンの大石誠三郎氏、㈱飯田庭園の飯田正徳氏が講師を務めます。
講義と実習は五日間の予定でしたが、台風の影響で四日間に縮めて行いました。
受講者はやはり六名でした。



剪定完了



互いに声を掛けあって安全に



形が決まったら刈り込み缺で

みどりのおたより(県環境ふれあい課)

静岡県さくら会(昭和四十一年三月二十八日設立、会長 川勝平太 静岡県知事)は、桜を愛護する精神を県民に広く普及させ、その保全、育成を図ることを目的に活動している任意団体であり、次の事業を展開しています。

一 静岡県さくら写真コンクール

毎年二月中旬ごろから五月中旬ごろまで、県内の桜を対象とした写真を募集し、優秀作品は県内各地で巡回展示しています。本年度は五百八十九点の応募があり、十八点の作品が入賞しました。



平成 29 年度最優秀賞
幻想夜桜 (筒井章氏)

二 さくら開花情報提供

静岡県は、十月中旬から五月上旬まで、県内各所で桜を見ることが出来ます。その中でも河津桜をはじめとした早咲きの桜と、ソメイヨシノを中心とした春に咲く桜について、開花情報を県さくら会のホームページ上で公開しています。

昨年度は早咲きの桜「千箇所」ソメイヨシノなど六十八箇所について、県内全域の桜の開花情報を紹介しました。春の桜シーズンは、ホームページを毎日更新しており(土日祝日は除く)、静岡新聞などにも情報提供しています。

桜の名所	桜の種類	開花時期	桜の特色	備考
河津桜	河津桜	2月下旬～3月上旬	静岡県内各地に点在する早咲きの桜	※1
千箇所	ソメイヨシノ	3月上旬～3月中旬	静岡県内各地に点在する桜	※2
桜田	ソメイヨシノ	3月中旬～3月下旬	静岡県内各地に点在する桜	※3
桜田	ソメイヨシノ	3月下旬～4月上旬	静岡県内各地に点在する桜	※4
桜田	ソメイヨシノ	4月上旬～4月中旬	静岡県内各地に点在する桜	※5
桜田	ソメイヨシノ	4月中旬～4月下旬	静岡県内各地に点在する桜	※6
桜田	ソメイヨシノ	4月下旬～5月上旬	静岡県内各地に点在する桜	※7
桜田	ソメイヨシノ	5月上旬～5月中旬	静岡県内各地に点在する桜	※8
桜田	ソメイヨシノ	5月中旬～5月下旬	静岡県内各地に点在する桜	※9
桜田	ソメイヨシノ	5月下旬～6月上旬	静岡県内各地に点在する桜	※10

開花情報のHP

三 さくら相談員派遣事業

静岡県さくら会の会では、平成二十二年度より県内全域の会員などからの依頼に応じ、樹木医の資格を持つ専門家を派遣し、桜の保護や健全な育成のために、個別相談の対応や今後の管理育成についての指導を行う「さくら相談員派遣事業」を実施しています。また、桜の名所を新たに創出するための計画や、既存の桜の名所の再整備など、行政や団体が行う大掛かりな計画に対しても技術的な助言を行っています。



相談員による指導

以上のように、広く愛される桜について、静岡県さくら会の会では様々な活動を実施しています。中でも、「さくら相談員派遣事業」では、今までにサクラテングス病などの病害やコスカシバによる虫害、枯損している枝の危険性の指摘など、行政機関を始めとする依頼者に対して様々な助言を行ってきました。

このような病害虫などに対応し、桜を守り続けるためには、施工、管理に関する専門知識をお持ちの造園緑化関係者の御協力が必要不可欠です。魅力ある静岡県の桜を後世に残し続けるため、今後とも桜の維持管理について、貴協会の皆様の御理解御協力をよろしくお願いいたします。



焼津の早咲き桜

緑の相談所開設

春と秋の各地の緑化フェアやみどりまつりなどの会場で緑の相談所を開設し、協会員が緑の相談に応じました。

会場では土や花の種、緑化のパンフレットを配布しました。

相談内容で多いのは自宅の庭の管理のことで、花木の剪定の時期や方法、病害虫防除の方法などが多かったです。



御殿場市（市民交流センター）



静岡市清水区（日本平運動公園）



沼津市（プラザヴェルデ）



焼津市（焼津旧港）



藤枝市（蓮華寺池公園）



浜松市浜北区（美園中央公園）



吉田町（吉田公園）

静岡県景観賞

平成二十九年八月二十四日、二十九日、三十日の三日間で静岡県景観賞現地調査を実施し、最終日に審査を行いました。

最優秀賞になったのは、「三島市の大通り商店街」です。ハンギングバスケットなど花があふれていて、高校生が作成した袖看板で個性的な商店街になっています。

花の管理は多くのボランティアに支えられているそうです。三島市は景観賞の常連ですが、景観に対する配慮は熱心です。

民間施設部門は「ドロフィーズキャンパス」、公共施設部門は「葦山反射炉ガイダンスセンター」と富士山本宮浅間大社ふれあい広場、まちなみ部門は「三島大通り商店街」、田園・農産漁村部門は「半夏生の里鍛冶島」、景観づくり活動部門は「県立森林公園・樹齢百年の貴重なアカマツ群落」に決定しました。



袖看板



大通りの花飾り

まちかどコレクション表彰式

平成二十九年七月二十三日、静岡市まちかどコレクション二〇一六の表彰式・講演会が「コミュニティホール七間町」で開催されました。

田辺市長が、大賞の「泉ヶ谷地区のまち並み」、建物部門賞の「小さな美術館 くにし庵」、看板部門賞の「オブティーク HARUTA 伝馬町店」に賞状と記念品を授与しました。寒竹委員長が講評を行いました。静岡市らしい景観はそこに住む人たちによって造られるもので、受賞地区はそれぞれの想いが感じられたと述べた。



田辺静岡市長



講評する寒竹委員長



講演する山崎亮氏

表彰式のと、(株)「studio」代表の山崎亮氏が講演を行いました。講師の山崎亮氏は、造園家、ランドスケープデザイナー、コミュニティデザイナー。東北芸術工科大学教授で公共空間のデザイン、プログラムデザインやプロジェクトマネジメントに携わっています。香川県観音寺市のまちづくりでは商店街がシャッター通りになっていましたが、店の一角に別の店を開くこと（下着屋＋餃子屋等）で、活性化に繋がったそうです。

第三十四回全国都市緑化 はちおうじフェア



八王子市は市政百周年のイベントとして第三十四回全国都市緑化はちおうじフェアを平成二十九年九月十六日(土)から十月十五日(日)まで開催しました。

はちおうじフェアは、「花とみどりあふれる文化的なライフスタイルの体験」をコンセプトに、多くの方に参加・体験していただけるフェアとしました。



遠足の幼稚園児が記念撮影

アーカイブガーデン

市政百周年を記念した、市民と協働で作るアーカイブガーデンです。陸上競技場の百メートル走路を八王子市の百周年と見立て、十年ごとに十のブロックに分けています。ブロックには百種類のベチュニアを植栽し、グラデーションの美しい花の絨毯を演出しています。八王子市のアーカイブとなるにふさわしく、約千二百人の市民で植え付けを行いました。



アーカイブガーデン

ロードサイドガーデン

「沿道のポケットパークをテーマとした花とみどりあふれる都市のおもてなし空間の提案」をテーマとした、造園や園芸等の企業によるガーデンで、会場のメインストリートに十九作品が並びます。



「繋がりの小道を抜けて」



「八王子を感じる庭」

循環の庭(自治体ガーデン)

全国の都市緑化を進める十四の都市が、共同で作ったガーデンです。雨水循環をイメージしたレインガーデンを中心にウッドデッキを円環に配置し、共同出展するそれぞれの自治体を取り組む都市緑化を紹介しています。中心に降った雨が地中に浸透して、周りの木々に潤いを与える水の循環による恵みや、水の豊かな自然の育みをイメージしました。



レインガーデン

巨樹と森林文化の会

平成二十九年八月八日、静岡市葵区のクーパーホール会館で「静岡県巨樹と森林文化の会第二十六回通常総会」が開催されました。

会員の減少、会長、理事の高齢化、参加者の減少により、平成二十九年六月二十二日の運営委員会において、平成二十九年年度をもって当会は解散することになりました。

「巨樹・古木写真コンクール」の表彰式も行われました。



挨拶する榎村会長

静岡県さくらの会

平成二十九年六月二十一日、県庁別館二十一階展望ロビーにおいて、平成二十九年年度静岡県さくらの会表彰式及び第五十二回通常総会が開催されました。

さくら写真コンクールの最優秀賞は伊東市の筒井章様が、静岡県内の桜部門は静岡市の稲葉康雄様が、「富士山と桜」部門は静岡市の遠藤蔵成様が受賞されました。さくら功労者にはかわづ花の会が受賞されました。



写真コンクールの優秀作品を展示

建設産業構造改善のつどい

平成二十九年九月十五日に静岡市産業交流センターで「平成二十九年年度静岡県優秀施工者褒状授与式」が開催され、本協会から関ひかり造園の辻豊氏が受賞されました。



後列の右から2番目が関ひかり造園の辻豊氏

優秀施工者 国土交通大臣顕彰

平成二十九年十月六日、東京都港区のメルパルクホールで開催された優秀施工者国土交通大臣顕彰式典で、関愛樹園の中野孝三氏が表彰されました。

中野氏は昭和五十九年四月に関愛樹園に入社され、以来三十三年間一貫して現場の第一線で職務に従事し、東日本大震災の福島第一原子力発電所事故発生から、緊急作業や除染作業にも参加するなど、率先して災害復旧に貢献しました。



中野孝三氏

防潮堤の要望書提出

平成二十九年七月四日、高林会長は静岡県森林保全課の高尾課長に要望書を提出しました。七月二十四日には、中遠農林事務所でも高林会長はじめ西部の会員六名が技監に海岸防潮林造成工事に関する要望書を提出しました。

適切な工期、植栽適期、発注者との調整等が円滑にできる土木工事と造園工事の分離発注を望んでいることを要望しました。



高尾森林保全課長に要望書を手渡す高林会長

静岡県造園施工管理技士会通常総会

平成二十九年六月二十七日、静岡市葵区呉服町の呉服町ビル四階会議室において第三十二回静岡県造園施工管理技士会通常総会が開催されました。出席会員は八十二名(うち委任状六十二名)で提出議案はすべて承認されました。

総会終了後、石原バイオサイエンス(株)の笹岡氏に松枯れ予防の殺センチュウ剤「ネマバスター」の説明をしていただきました。



挨拶する望月会長

片桐前会長知事表彰

平成二十九年十一月三日、当協会の前会長の片桐利男氏が県庁西館で知事から表彰されました。

表彰理由は、多年、公益社団法人静岡県造園緑化協会会長として、緑化推進に尽力するなど、地域の環境保全に寄与したというものです。

片桐氏は理事、副会長、会長を平成四年から平成二十六年まで二十二年間務め、本業の技術を駆使して、社会貢献活動ができる体制を構築しました。



表彰状を手にする片桐前会長夫妻



川勝知事から表彰状を直接授与される



式辞を述べる川勝知事

南アルプス 高山帯の野鳥



高山帯ではルリビタキ、メボソムシクイ、カヤクグリなど種類は限られています。驚くほど鳥の生息密度が高いです。ハイマツ帯を代表するのはライチョウです。これはそんなに多くはありませんが、登山道に出て来ても人を恐れず、じつくり観察できます。秋に目立つのはホシガラスです。ハイマツの松ぼっくりを食べた跡があちこちで見られます。他の鳥たちが低山や南方に渡来した真冬でもコガラはライチョウとともに高山にいます。



ライチョウ 雄と雌



イワヒバリ



ルリビタキ



ヒガラ



カヤクグリ



コガラ



メボソムシクイ



ホシガラス

公益社団法人静岡県造園緑化協会会員

会員名	所在地	電話番号	会員名	所在地	電話番号
柿愛樹園	東伊豆町	0557-23-0648	加藤造園(株)	焼津市	054-628-3235
木村造園(株)	東伊豆町	0557-23-1635	原田造園(株)	焼津市	054-624-2610
株伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	良知樹園(株)	焼津市	054-624-1355
株広野園	伊東市	0557-37-3028	南富士昌造園	焼津市	054-624-4007
株植源	伊東市	0557-45-0040	南杉村造園	焼津市	054-624-4030
藤原造園(株)	熱海市	0557-81-4240	南梶園	焼津市	054-624-8941
西村造園(株)	熱海市	0557-82-7424	株中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
有伊豆植物園	伊豆の国市	0558-76-1564	株大石造園	藤枝市	054-643-7282
大島造園土木株・静岡営業所	裾野市	055-997-2775	南太陽造園	藤枝市	054-641-4076
株富士見園	長良町	055-986-6567	株特種東海フォレスト	島田市	0547-46-1551
南正翠園	長良町	055-986-3199	南岩本造園	吉田町	0548-32-2507
株大綱造園	御殿場市	0550-75-7928	南松浦造園	吉田町	0548-32-8887
株植正園	沼津市	055-921-0945	株雄樹園	御前崎市	0537-86-2684
南緑香苑	沼津市	055-931-0408	田原造園建設(株)	沼津市	0537-22-5951
株大志建設	沼津市	055-923-1128	株柿梗庭苑	掛川市	0537-24-5577
株翠石園	富士市	0545-71-2236	株三宝園	掛川市	0537-24-4128
株大松園	富士市	0545-52-5220	南小澤造園	掛川市	0537-22-9052
南常葉園	富士市	0545-35-0163	南松月園	森町	0538-48-6431
株望月庭園	富士市	0545-21-5195	南山本造園	袋井市	0538-48-6592
南やまもと園芸	富士市	0545-38-1958	株片桐造園建設	袋井市	0538-48-7884
天野園芸(株)	富士市	0545-81-0655	株ハッパ代造園	袋井市	0538-43-4355
株共立	富士市	0545-85-1213	トヨタ緑産園	袋井市	0538-44-0400
南小林造園	富士宮市	0544-24-4533	株庭 仁	磐田市	0538-35-5528
赤池造園(株)	富士宮市	0544-24-3568	株植 勘	磐田市	0538-34-3030
株佐野緑化	富士宮市	0544-27-2825	株浮月園	磐田市	0538-38-0529
株岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	南永井造園	磐田市	0538-38-0500
南丸楊造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	南稲垣造園	磐田市	0538-38-1901
源平造園建設(株)	静岡市清水区	054-366-5525	南松島園	磐田市	0538-38-0790
株小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	南大東園	磐田市	0538-34-4163
駿河緑地造成(株)	静岡市清水区	054-351-2555	南昭花園	磐田市	0538-35-3392
南森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	南東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
木下造園(株)	静岡市清水区	054-334-0757	株江間植苗園	浜松市中央区	053-471-1727
不二見造園土木(株)	静岡市清水区	054-369-2515	株庭 明	浜松市中央区	053-453-3311
春長園緑化(株)	静岡市葵区	054-246-7512	株植 勘	浜松市中央区	053-455-3980
株ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	みどり園(株)	浜松市中央区	053-456-1165
株森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	南太陽造園土木	浜松市中央区	053-455-4007
静岡親葉(株)	静岡市葵区	054-261-2094	株エンチャー	浜松市東区	053-435-8585
南飯田庭園	静岡市葵区	054-245-0513	株大瀬造園	浜松市東区	053-434-1907
株藤原造園	静岡市葵区	054-245-9870	天龍造園建設(株)	浜松市東区	053-421-1180
株静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	赤堀産業(株)	浜松市東区	053-434-4332
株理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	大協造園緑化(株)	浜松市西区	053-592-4500
株西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	ナイセイ緑地(株)	浜松市西区	053-485-4631
ソーア造園(株)	静岡市駿河区	054-282-7971	市川造園(株)	浜松市南区	053-449-4646
株小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	大村造園建設(株)	浜松市北区	053-437-1128
株落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928	五常園(株)	浜松市浜北区	053-587-4838
株静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593	南海重植木	湖西市	053-579-0736

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- 造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいただく活動
- 緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- 災害時の応急復興活動・東日本大震災では震災直後に大町での瓦礫処理活動を実施
- 高齢求職者就労のための技術講習支援活動や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- 環境や自然、樹木に関する調査活動や静岡県景観整備機構として景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-8601 静岡市葵区迫手町9番6号

Tel. 054-253-0586 Fax 054-251-9205 URL <http://www.midorinotakara.org/>

平成30年1月発行

編集 啓発労働委員会

題字 秉松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに森の町内会」の紙を使うことにより、林地に捨てられる間伐材を資源として活用し、静岡県の豊かな森づくりをサポートしています。